

太田川河川事務所

記者発表・配付資料

記者発表資料
配布日時

平成30年7月13日
15:00 配付

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

平成30年7月豪雨により土石流が発生した箇所において 応急対策に着手しました。

1. 概要

平成30年7月豪雨により土石流が発生し、人的被害が発生するなど大きな被害が発生した箇所において、今後の降雨による再度災害を防止するため応急対策に着手しました。

2. 実施箇所

- 1) 広島市東区馬木町
 - 2) 広島市東区福田1丁目
 - 3) 広島市安佐北区口田南3丁目
 - 4) 広島市安佐北区口田南5丁目
- (詳細は別紙をご覧ください。)

3. 実施内容

- 1) 溪流内に残る土砂の流出を防ぐため、溪流の出口に大型土のうを設置します。
- 2) 溪流内から出てくる水を下流へ安全に流すために、大型土のうで水路を作ります。
- 3) 土石流の発生を速やかに感知し、地域の皆さまにお知らせする警報装置（ワイヤーセンサー）を設置します。
併せて土石流の発生を確認するためのカメラを設置します。
- 4) 溪流内に残る土砂や流木などが流下した際に捕捉し、下流に流れるのを防ぐために強靱ワイヤーネットを設置します。

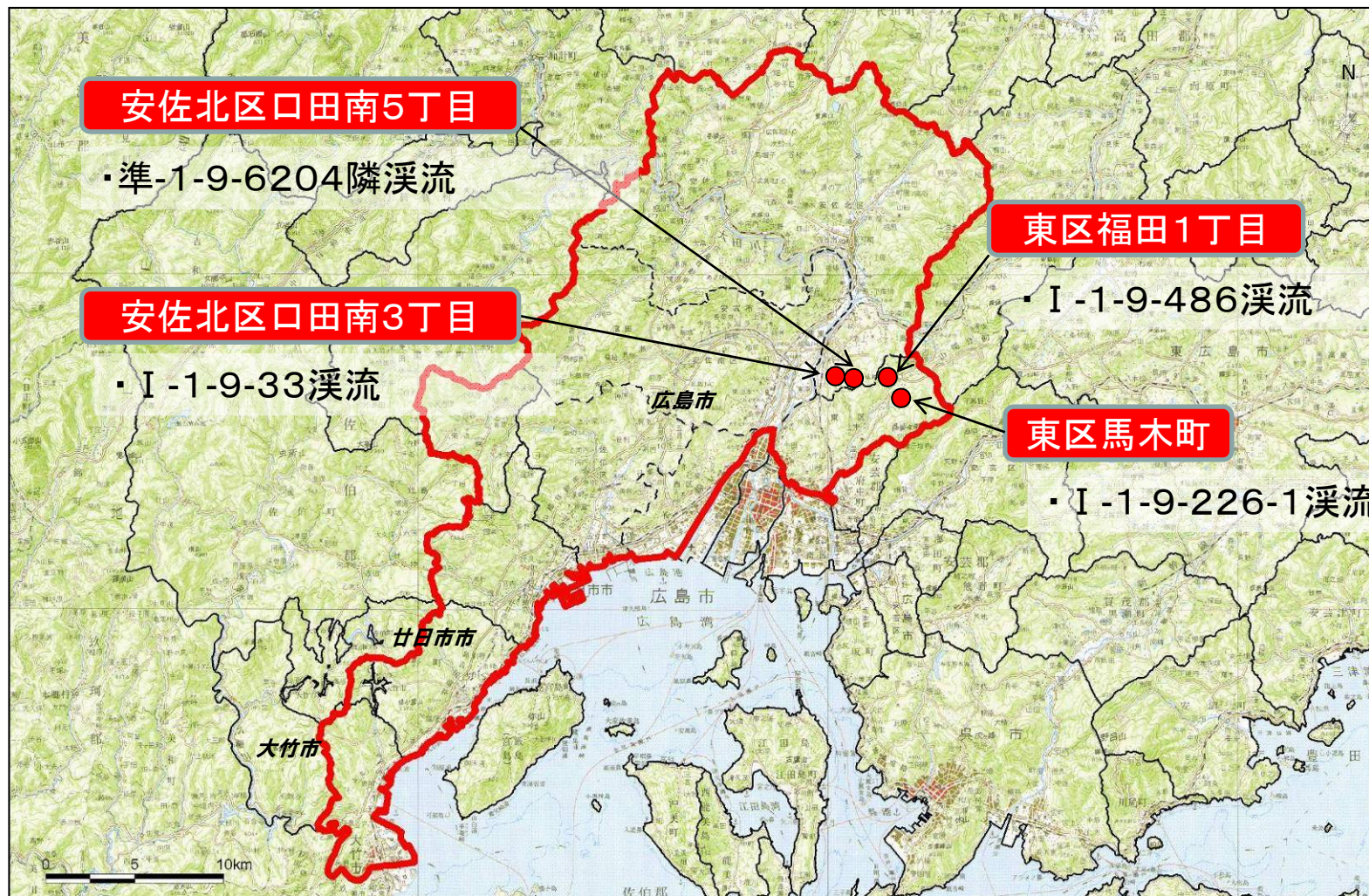
<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局
太田川河川事務所 082-221-2436 (代表)

【担当・問い合わせ先】

(砂防担当) 副所長 大塚 尚志
工務第二課長 末永 敦

太田川河川事務所で応急対策を実施する箇所



凡例  広島西部山系
直轄砂防事業区域

応急対策について

- 1) 渓流内に残る土砂の流出を防ぐため、渓流の出口に大型土のうを設置します。
- 2) 渓流内から出てくる水を下流へ安全に流すために、大型土のうで水路を作ります。
- 3) 土石流の発生を速やかに感知し、地域の皆さまにお知らせする警報装置(ワイヤーセンサー)を設置します。
併せて土石流の発生を確認するためのカメラを設置します。
- 4) 渓流内に残る土砂や流木などが流下した際に捕捉し、下流に流れるのを防ぐために強靱ワイヤーネットを設置します。

応急工事のイメージ



○土石流監視警報装置(ワイヤーセンサー)

対策イメージ



○強靱ワイヤーネット

対策イメージ



○大型土のうによる流路

対策イメージ



広島西部山系砂防事業 応急対策状況(7月13日)



重機による進入路の確保(安佐北区口田南3丁目)